

時間銀行が登場する「ルポ 雇用なしで生きる」の
著者 工藤律子さん来村記念

「じかんぎんこう」を話そう

少子高齢化、100年時代、教育の多様化、子育て不安
安心して楽しく生活できるヒントが、じかんぎんこうにきっとある！

令和6年 3月2日【土】

時間 15:00~17:00 会場 麻績村交流センター2階

対象者 どなたでもご参加いただけます 申込不要
* 1階のひだまり広場（未就学児のみ）利用可
会場内にキッズスペースあり

参加費 大人1人100円(お茶菓子代)

問合せ InstagramID: wakuwaku.omii
一般社団法人わくわくの村 事務局
詳しくは裏面をご覧ください



講師

Yuji Shinoda

篠田 有史 氏

フォトジャーナリスト

1954年、岐阜県生まれ。
名古屋工業大学工学部卒業後、1年間、写真を撮りながら世界一周の旅をする。それ以来、スペイン語圏を中心に市井の人たちを撮り続けている。写真展「スペインの小さな村で」「遠い微笑みニカラグア」（富士フォトサロン）、『ぼくらは生きる メキシコのストリートチルドレン』（東京YMCA他）などを開催。共著に『コロンブスの夢』（新潮社）、『リゴベルタの村』（講談社）、『ドン・キホーテの世界をゆく』（論創社）、『伊達侍と世界をゆく 「慶長遣欧使節」とめぐる旅』など。NGO「ストリートチルドレンを考える会」の運営委員も務める。

講師

Ritsuko Kudo

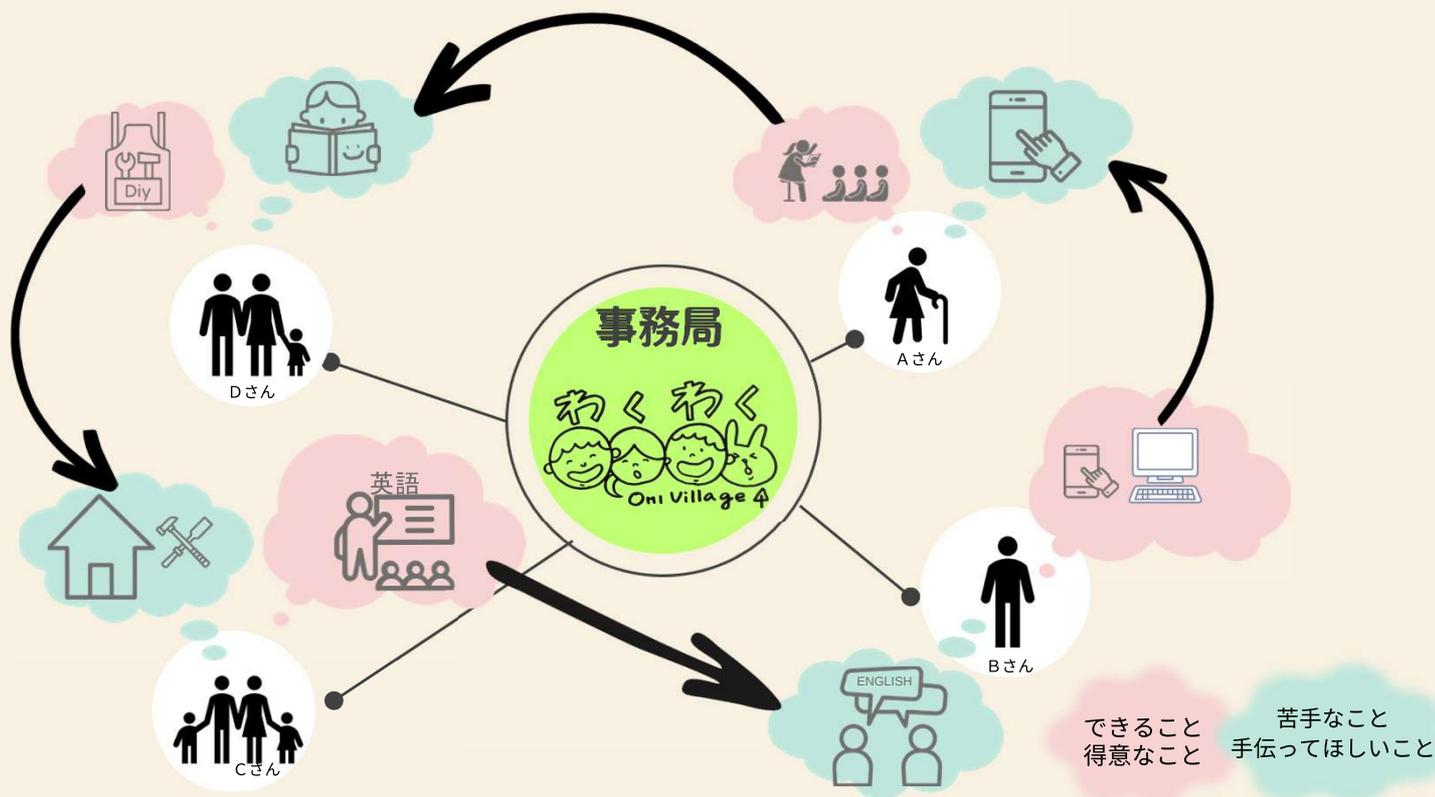
工藤 律子 氏

ジャーナリスト

1963年、大阪府生まれ。
東京外国語大学大学院地域研究研究科修士課程在籍中より、メキシコの貧困層の生活改善運動を研究しながら、ジャーナリストとしての活動を始める。主なフィールドはスペイン語圏、フィリピン。著書に『仲間と誇りと夢と』（JULA 出版局）、『ストリートチルドレン』『生物とコラボする』（岩波ジュニア新書）、『ルポ 雇用なしで生きる』『ルポ つながりの経済を創る』（岩波書店）、『マラス 暴力に支配される少年たち』（集英社。第14回開高健ノンフィクション賞受賞）など、多数。ボランティアのみで運営するNGO「ストリートチルドレンを考える会」の共同代表でもある。

じかんぎんこうってなんだろう？

時間銀行とは、みんなが平等に持っている「時間」を使ってできることや困っていることをシェアし、みんなで支え合っていくしくみ



<利用方法>

まずは自分の「出来ること・得意なこと」と「苦手なこと・手伝ってほしいこと」を登録します。利用する際は事務局に連絡をもらい、事務局より対応できる方を探します。自分のできる時に、できることをしていきます。

【例】

Aさん 携帯電話の使い方を教えてほしい… ~事務局を通して~ Bさんが見つかりました！

↓
Bさん その時間を使って、誰か英語と一緒に話しをしてほしい… ~事務局を通して~ Cさんが見つかりました！

↓
Cさん 家の改修をやっているの、誰か手伝ってほしい…~事務局を通して~ Dさんが見つかりました！

↓
Dさん 子どもに読み聞かせをしてくれる人がほしい…~事務局を通して~ Aさんが見つかりました！

- *利用をする前には登録と保険の加入が必要となります（無料です）
（趣味は何ですか？お手伝いできることはありますか？など）
- *自分の情報を公開したり、公開している情報を見て、交流を深めることもできます
- *週に1度 登録の日を設けます
- *子どもたちのイラストが入った通帳を使って、やりとりを記録していきます

詳細や問い合わせはこちらから InstagramID : wakuwaku.omi
wakuwaku.village03@gmail.com
わくわくの村 事務局 090-2434-4576



Instagram



公式LINE



ホームページ